

私が大好きなおばさん（父の妹）は、もう5年くらいお正月に帰ってきていません。その理由について母に聞いたら、「コロナの影響もあるけど、親せきの人たちから結婚していないこと、子どもがいないことをいろいろと言われるからよ」ということでした。

そして父は、「自分のことを自分で決めることが人権だよ、自分の体を大切にできることも人権だよ」と教えてくれました。



日常の中の何でもないこととして見過ごされてしまう、結婚していない人、子どもがいない人やカップルが「いろいろ言われること、」について、あなたは、この父親のように人権の根幹に関わる大切なことを汲み取ることができるでしょうか。

私たちの身近には、依然として根強く存在する女性・男性、家族の「あるべき姿」への無意識の思い込みによる一人ひとりの多様なありかたが尊重されない「いろいろなこと、」があります。

あなたには、その根っこで揺らいでいる、産む可能性のある女性が、自らの妊娠・出産について自律的であり自己決定できる「個人の尊厳、」にかかわる大切なことがみえているでしょうか。

「自分の体を大切にできることも人権だよ」と……。こんな風な優しく、確かな父親のことばがあることは、男女共同参画・ジェンダー平等の未来への希望です。